

# 2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

- 1) 決算概要
- 2) 決算のポイント
- 3) 営業利益増減の要因分析
- 4) 国内売上高
- 5) 海外売上高
- 6) 商品群別売上高  
[参考] 内訳
- 7) トピックス
- 8) 設備投資と研究開発費
- 9) 通期業績見通し  
[参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響  
[参考] COVID-19関連需要の推移(概算)



日本光電工業株式会社

銘柄コード: 6849  
2024年2月2日

# 1) 決算概要

	2023/3 第3四半期 累計	2024/3 第3四半期 累計	増減率 (%)	(単位:百万円、単位未満切捨て)
売上高	144,557	156,169	8.0	
国内売上高	93,569	98,598	5.4	
海外売上高	50,987	57,571	12.9	← 為替影響除く: +6% (為替・決算期変更影響*除く: +3%)
売上総利益 (売上総利益率)	73,496 50.8%	78,282 50.1%	6.5	← 自社品 2022/12 2023/12 売上比率: 71.7% → 72.8%
営業利益 (営業利益率)	11,377 7.9%	10,515 6.7%	△ 7.6	← 販管費: 621億円 → 677億円 販管费率: 42.9% → 43.4%
経常利益	13,937	13,258	△ 4.9	← 為替差益: 2,058百万円 → 2,354百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,860	7,926	△ 10.5	
平均レート	(2022/12)	(2023/12)		
1米ドル	134.0円	142.4円		
1ユーロ	140.6円	155.7円		

※米国子会社再編に伴い、デフィブテック社の決算日を12月31日から3月31日に変更しています。当第3四半期連結累計期間は、2023年1月1日から2023年12月31日までの12ヵ月決算を連結しています。

- 売上高は8%増の1,561億円となりました。
- 国内売上高は、5.4%増の985億円となりました。消耗品・サービス事業の強化に注力した結果、全ての市場、全ての商品群で売上を伸ばすことが出来ました。
- 海外売上高は、12.9%増の575億円、現地通貨ベースでは6%の増加となりました。昨年4月の米国子会社再編に伴い、デフィブテック社の決算期を12月から3月に変更しており、当第3四半期連結累計期間は12ヵ月決算を連結しています。為替と決算期変更の影響を除くと、3%の増加となりました。
- 営業利益は、人員の増強や研究開発投資に加え、全社収益改革に係る費用等の販管費が増加し、7.6%減の105億円となりました。自社品売上比率は上昇したものの、自社品内の売上構成が変化したことから、粗利率は50.1%となりました。
- 経常利益は4.9%減の132億円、純利益は10.5%減の79億円となりました。
- 第3四半期会計期間の社内計画に対しましては、売上高は、国内、海外ともに、概ね想定どおりで推移しましたが、粗利率が想定を下回ったこと、販管費が想定を上回ったことから、営業利益は計画を下回って推移しました。

## 2) 決算のポイント

### 売上高：前年同期比 8.0%増

- 国内：消耗品・サービス事業の強化に注力し、全ての市場、全ての商品群で売上が伸長。新築移転に伴う大口商談の受注もあり、大学、私立病院市場が好調に推移。官公立病院、診療所市場も堅調。
- 海外：米国子会社再編に伴うデフィブテック社の決算期変更の影響や円安効果もあり、二桁成長。

### 営業利益：前年同期比 7.6%減

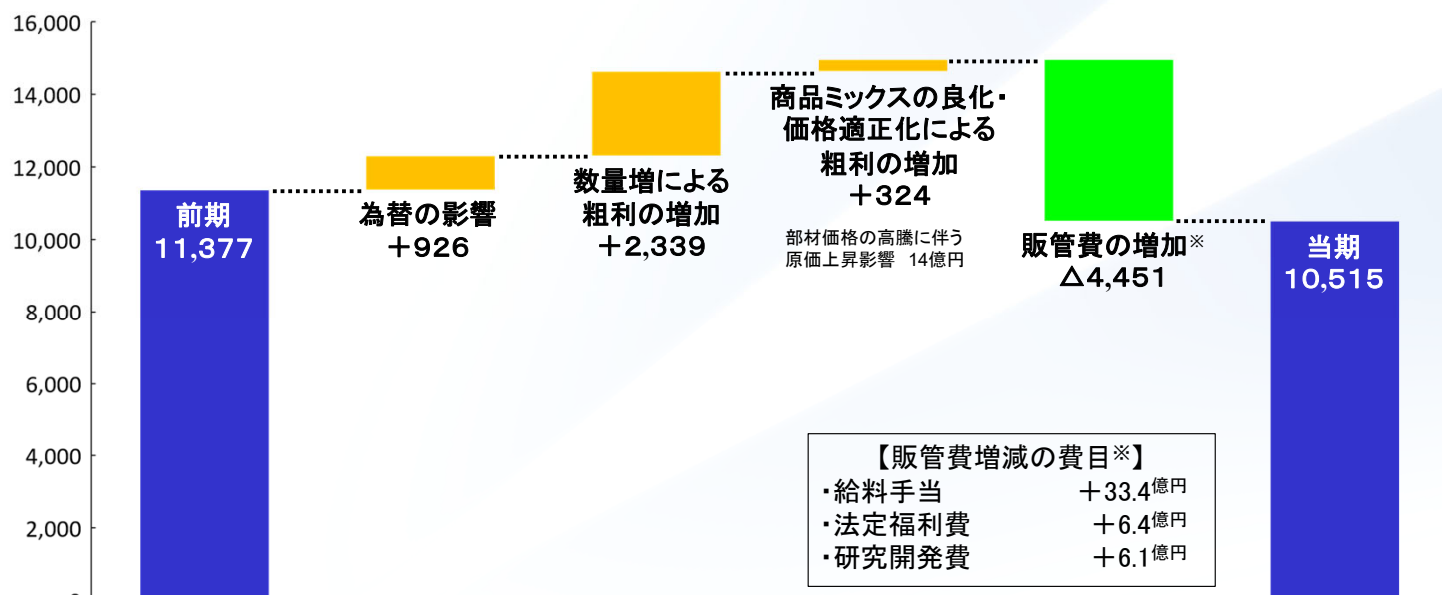
- 人員の増強、研究開発投資、全社収益改革に係る費用により販管費が増加。
- 部材価格の上昇は価格適正化の取り組みにより相殺するも、自社品内の売上構成が変化し、原価率は上昇。

### 経常利益：前年同期比 4.9%減

- 為替差益は増加。

### 3) 営業利益増減の要因分析

(単位:百万円)

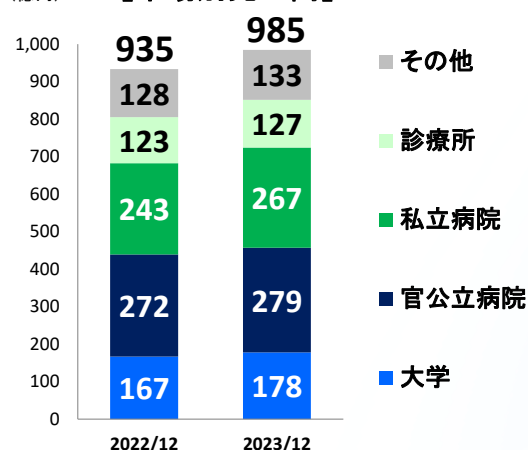


※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、「販管費増減の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増減金額を表しています。

- 営業利益が、前期の113億円から105億円に減少した要因について、ご説明します。
- 為替の影響につきましては、9億円のプラス要因となりました。
- 数量増による粗利の増加は、23億円となりました。
- 商品ミックスの良化や価格適正化による粗利の増加は、3億円となりました。部材価格の高騰に伴う原価上昇影響は14億円程度ありましたが、相殺することが出来ました。売上原価率につきましては、自社品内で売上構成が変化したことから、上昇しました。国内では粗利率の低い設置工事が増加し、海外では代理店経由で販売しているAEDが好調でした。
- 販管費につきましては、人員の増強や研究開発投資に加え、当第3四半期から開始した全社収益改革に係る費用により、44億円のマイナス要因となりました。

## 4) 国内売上高

【市場別売上高】



【商品群別売上高】

(単位:百万円)

商品群別	2023/3 第3四半期 累計	2024/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	23,375	25,228	7.9
生体情報モニタ	30,711	32,028	4.3
治療機器	18,494	19,900	7.6
その他	20,988	21,440	2.2
<b>売上高合計</b>	<b>93,569</b>	<b>98,598</b>	<b>5.4</b>

【市場別】 医療機関における検査・手術件数が増加傾向にある中、消耗品・サービス事業の強化に注力した結果、全ての市場で増収。新築移転に伴う大口商談の受注もあり、大学、私立病院市場が好調に推移。官公立病院、診療所市場も堅調。

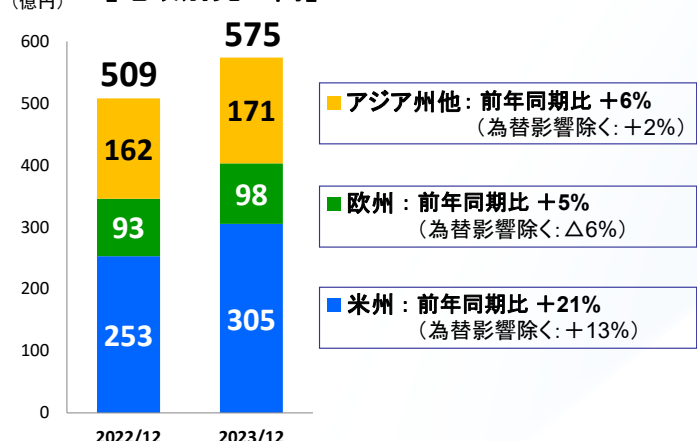
【商品群別】 **生体計測機器:** 診断情報システム、脳神経系群が二桁成長。心臓カテーテル検査装置群も好調、心電計群は堅調に推移。  
**生体情報モニタ:** 臨床情報システムが大幅増収。センサ類など消耗品も好調に推移。送信機、ベッドサイドモニタは前年同期を下回る。  
**治療機器:** 全ての商品が好調に推移。特に、アブレーションカテーテルが二桁成長。人工呼吸器の売上も回復。  
**その他:** 医療機器の設置工事・保守サービスが好調、検体検査装置・試薬も堅調に推移。画像診断装置は減収。

- 国内売上高は、50億円増の985億円となりました。医療機関における検査・手術件数が増加傾向にある中、消耗品・サービス事業の強化に注力した結果、全ての市場、全ての商品群で売上を伸ばすことが出来ました。部材価格の上昇を受けた価格適正化の取り組みも増収に寄与しました。
- 市場別では、新築移転に伴う大口商談の受注もあり、大学、私立病院市場が好調に推移しました。官公立病院、診療所市場も堅調でした。
- 商品別では、生体計測機器、治療機器が好調だったほか、生体情報モニタ、その他商品群も堅調に推移しました。
- 生体計測機器は、診断情報システム、脳神経系群が二桁成長となりました。心臓カテーテル検査装置群も好調に推移、心電計群は堅調でした。
- 生体情報モニタは、臨床情報システムが大幅増収となったほか、センサ類など消耗品も好調に推移しました。送信機、ベッドサイドモニタは、コロナ関連需要の反動により、前年同期を下回りました。
- 治療機器では、全ての商品が好調に推移しました。特に、アブレーションカテーテルが二桁成長となったほか、人工呼吸器の売上も回復しました。AEDは画面付きAEDや消耗品が好調に推移しました。
- その他商品群では、医療機器の設置工事・保守サービスが好調に推移し、検体検査装置・試薬も堅調でした。画像診断装置は減収となりました。



# 5) 海外売上高

【地域別売上高】



【海外売上高比率】

	2023/3 第3四半期累計	2024/3 第3四半期累計
海外売上高比率	35.3%	36.9%

【商品群別売上高】

	2023/3 第3四半期 累計	2024/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	7,007	7,792	11.2
生体情報モニタ	25,259	25,879	2.5
治療機器	13,392	18,358	37.1
その他	5,328	5,540	4.0
<b>売上高合計</b>	<b>50,987</b>	<b>57,571</b>	<b>12.9</b>

為替影響除く: +6% (為替・決算期変更影響除く: +3%)

【地域別】 米州: 米国、中南米ともに二桁成長。米国では、生体情報モニタは前年同期を下回るも、治療機器、生体計測機器が大幅増収。中南米は、コロンビア、メキシコを中心に好調に推移。  
 欧州: イギリス、オランダは好調に推移したものの、ドイツが好調だった前年同期を下回る。  
 アジア州他: マレーシアが好調に推移し、モロッコでの大口商談も寄与。中国は反腐敗運動の影響もあり、売上高の伸びが鈍化。  
 【商品群別】 生体計測機器: 脳神経系群が全ての地域で好調に推移。心電計群はアジア州他、欧州で減収。  
 生体情報モニタ: 米州、欧州では、円ベースで前年同期を上回る。アジア州他では、円ベース、現地通貨ベースともに減収。  
 治療機器: AEDが全ての地域で好調に推移。人工呼吸器も、米国でマスク型人工呼吸器がけん引し、二桁成長。  
 その他: 検体検査装置・試薬がアジア州他で前年同期を上回る。

- 海外売上高は66億円増の575億円、現地通貨ベースでは6%の増加となりました。為替とデフィブテック社の決算期変更の影響を除くと3%の増加となりました。海外売上高比率は36.9%となりました。
- 米州では、米国、中南米ともに二桁成長となりました。米国では、治療機器、生体計測機器が大幅増収となりました。看護師不足やインフレにより医療機関の経営悪化が顕在化しており、生体情報モニタは受注から納品・設置までのサイクルが長期化しているほか、商談決定プロセスにも慎重な動きが見られることから、前年同期を下回りました。中南米は、コロンビア、メキシコを中心に好調に推移しました。
- 欧州は、現地通貨ベースでは前年同期を下回りましたが、円ベースでは増収となりました。イギリス、オランダは好調でしたが、ドイツが好調だった前年同期を下回りました。
- アジア州他では、マレーシアが好調に推移し、モロッコでの大口商談の受注も寄与しました。中国は、当第3四半期からの反腐敗運動の影響もあり、売上高の伸びが鈍化しました。中国は12月決算であり、通期では、現地通貨ベース、円ベースともに二桁の減収の見通しです。
- 商品別では、治療機器が大幅増収、生体計測機器も二桁成長となりました。生体情報モニタ、その他商品群は、現地通貨ベースでは前年同期を下回りましたが、円ベースでは増収となりました。生体計測機器では、脳神経系群が全ての地域で好調に推移しました。心電計群は、アジア州他、欧州で減収となりました。生体情報モニタは、米州、欧州では、円ベースで前年同期を上回りました。アジア州他では、円ベース、現地通貨ベースともに減収となりました。治療機器は、デフィブテック社のAEDが全ての地域で好調に推移しました。人工呼吸器も、米国でマスク型人工呼吸器がけん引し、二桁成長となりました。その他商品群では、検体検査装置・試薬がアジア州他で前年同期を上回りました。

## 6) 商品群別売上高

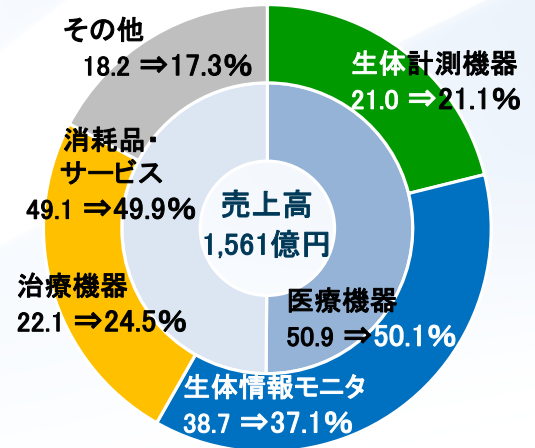
(単位: 百万円)

	2023/3 第3四半期 累計	2024/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	30,382	33,021	8.7
生体情報モニタ	55,970	57,908	3.5
治療機器	31,887	38,258	20.0
その他	26,316	26,980	2.5
売上高合計	144,557	156,169	8.0

(参考)

医療機器	73,618	78,302	6.4
消耗品・サービス	70,938	77,866	9.8

商品群別売上構成比  
(2022/12 ⇒ 2023/12)



- 生体計測機器は前期比8.7%増の330億円、生体情報モニタは3.5%増の579億円、治療機器は20%増の382億円、その他商品群は2.5%増の269億円となりました。
- 消耗品・サービスは、9.8%増の778億円となりました。医療機関における検査・手術件数が増加傾向にある中、国内、海外ともに、消耗品・サービス事業に注力した結果、売上を伸ばすことが出来ました。

# [参考] 商品群別売上高の内訳

(単位:億円、単位未満切捨て)

生体計測機器	2023/3 第3四半期 累計	2024/3 第3四半期 累計
脳神経系群	64	70
心電計群	47	46
心臓カテーテル検査装置群	117	129
その他(診断情報システム等)※	73	83

※診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。

治療機器	2023/3 第3四半期 累計	2024/3 第3四半期 累計
医科向け除細動器	59	60
A E D	142	197
ペースメーカー・ICD	17	19
人工呼吸器	40	47
その他	57	58

その他	2023/3 第3四半期 累計	2024/3 第3四半期 累計
検体検査装置	86	89
画像診断装置他※	176	180

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

- 商品群別売上高の内訳は、ご覧のとおりです。



# 7) トピックス

## 2024年3月期発売の主な新製品※1

### 治療機器事業



#### 自動心臓マッサージ装置 RMU-N2000

2023年度1Q: 米国、欧州、新興国  
2023年度4Q: 日本

米国開発・生産

- ・デフィブテック社で開発・生産、日本に初上市
- ・セットアップと操作をシンプル化、一定の深さ・間隔の胸骨圧迫を目指した設計
- ・救命現場における迅速で絶え間ないCPR※2をサポート

圧迫モジュール  
上面パネル部

#### 人工呼吸器 NKV-440

米国開発・  
生産

2022年度4Q: 一部新興国  
2023年度4Q: 米国(予定)

院内搬送可能な  
気管挿管型モデル



#### 全静脈麻酔支援シリンジポンプ 制御ソフトウェア ROP-1680

AsisTIVA アシステイヴァ  
2023年度2Q: 国内  
バイタルデータを活用して  
麻酔薬の自動調節を行う  
ソフトウェア

### 生体情報モニタリング事業



#### セントラルモニタ CNS-2101

2021年度3Q: 日本  
2023年度3Q: 米国  
2024年度:  
欧州、新興国(予定)



#### ベッドサイドモニタ BSM-2500

2023年度3Q: 欧州、新興国

病棟・ER・ICU向け  
普及タイプ

上海開発・生産



#### 新生児蘇生モニタ NRM-1300

2022年度2Q: 日本  
2023年度4Q:  
インドネシア(予定)



#### 医用テレメータ WEP-1600

2023年度2Q: 日本

### 臨床検査機器事業



#### 在宅睡眠記録装置 NomadAir

2023年度2Q: 米国



#### 脳波計 EEG-1290 Next

2023年度2Q: 日本

※1 許認可申請の審査期間等によって、各国での実際の発売時期は異なります。 ※2 CPR: Cardio Pulmonary Resuscitation(心肺蘇生)。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

NIHON KOHDEN

8

- 当期の主な新製品をご紹介します。
- 治療機器事業では、米国のデフィブテック社で開発した自動心臓マッサージ装置につきまして、日本で初めて承認を取得し、発売に至りました。セットアップと操作をシンプルにし、一定の深さ・間隔の胸骨圧迫を目指して開発しました。迅速で絶え間ない心肺蘇生をサポートすることで、医療従事者の負荷軽減を期待しています。また、自動心臓マッサージ装置は、当社が国内で高いシェアを有する除細動器やAEDと組み合わせることで救命現場で使用されることから、救命率のさらなる向上に貢献できるよう普及に努めます。
- 人工呼吸器の中位機種モデルにつきましては、米国での発売に向けて準備を進めています。昨年11月に開催された米国呼吸療法学会に初めて展示し、院内搬送可能な気管挿管型モデルとして、高い評価をいただいています。
- 生体情報モニタリング事業では、セントラルモニタの新機種を米国で発売したほか、上海で開発した普及タイプのベッドサイドモニタを欧州と新興国で発売しました。新生児蘇生モニタにつきましても、インドネシアでの発売に向けて準備を進めています。

## 8) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	2023/3 第3四半期 累計	2024/3 第3四半期 累計	増減額	2023/3 前期実績	2024/3 予想 期初	2024/3 予想 11月8日 修正
設備投資	3,273	3,202	△ 71	8,294	5,000	5,000
減価償却費	2,661	2,649	△ 12	3,675	4,100	4,000
研究開発費	4,395	5,011	615	6,200	7,200	7,200

### ●2024/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備

インド 試薬新工場の建設 総投資額:約12億円 < 2023/3:10億円  
2024/3:2億円

着工:2022年9月 完成:2023年9月  
稼働開始:2024年夏予定

PLM/MES※システムの導入 設備投資額:約30億円 < 2023/3:3億円  
2024/3~2026/3:27億円

PLM/MES:2026/3稼働予定

鶴ヶ島新工場の建設 総投資額:約95億円 < 2023/3:23億円(土地取得)  
2025/3~:約72億円(建屋・設備等) 着工:2024年春 完成:2025年春  
稼働開始:2026年予定

※PLM(Product Life-cycle Management):製品ライフサイクル管理、MES(Manufacturing Execution System):製造実行システム。

- 設備投資は32億円、減価償却費は26億円となりました。  
研究開発費は6億円増の50億円となりました。
- 通期の設備投資は50億円、減価償却費は40億円、研究開発費は72億円で  
変更ありません。

## 9) 通期業績見通し

	2023/3	2024/3予想		増減率 (%)
	前期実績	期初	11月8日修正	
売上高	206,603	215,000	221,500	7.2
国内売上高	135,734	139,500	142,000	4.6
海外売上高	70,869	75,500	79,500	12.2
売上総利益 (売上総利益率)	105,926 51.3%	109,000 50.7%	112,500 50.8%	6.2
営業利益 (営業利益率)	21,120 10.2%	21,500 10.0%	22,200 10.0%	5.1
経常利益	24,122	21,500	24,000	△ 0.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	17,110	14,500	15,500	△ 9.4
海外売上高比率	34.3%	35.1%	35.9%	
<b>平均レート</b>				
1 米 ド ル	134.6円	125円	139円	
1 ユ ー ロ	141.0円	139円	151円	

← 為替影響除く: +8%

### 【地域別海外売上高】

	2023/3	2024/3予想		増減率 (%)
	前期実績	期初	11月8日修正	
米 州	36,818	40,200	43,400	17.9
欧 州	12,349	11,700	12,600	2.0
アジア州他	21,701	23,600	23,500	8.3
海 外 計	70,869	75,500	79,500	12.2

※第4四半期の前提為替レートは142円/米ドル、157円/ユーロです。

- 通期の業績予想については、前回予想から変更はありません。
- 国内売上高は1,420億円で変更ありません。消耗品・サービス事業に引き続き注力するとともに、年度末に向けてITシステム商談を含む医療機器の納品・設置に着実に取り組みます。
- 海外売上高についても795億円で変更ありません。第3四半期は、米国において、生体情報モニタが計画を下回って推移しましたが、第4四半期末にかけて予定されている納品・設置に注力し、挽回を目指します。また、受注が高まっているマスク型人工呼吸器の納品・トレーニング・保守体制の強化に取り組みます。海外全体では、現地通貨ベースで11月時点の想定を下回る可能性はあるものの、為替が想定よりも円安に推移していることから、ほぼ計画どおりの見通しです。
- 営業利益については、222億円で変更ありません。粗利率については、第3四半期では前年同期を下回って推移していますが、第4四半期では自社品内の売上構成が良化する見込みであることから、通期見通し50.8%に変更はありません。グループ全体での収益改革を推進し、販管費の伸びの抑制に努め、利益の達成を目指します。

# [参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

(単位:百万円)

	2023/3 前期実績	2024/3予想 期初	2024/3予想		増減率(%)
			11月8日修正	構成比(%)	
生体計測機器	43,287	44,100	46,100	20.8	6.5
生体情報モニタ	80,815	83,400	85,500	38.6	5.8
治療機器	44,463	48,200	50,900	23.0	14.5
その他	38,036	39,300	39,000	17.6	2.5
売上高合計	206,603	215,000	221,500	100.0	7.2

(参考)

医療機器	108,904	113,000	115,500	52.1	6.1
消耗品・サービス	97,699	102,000	106,000	47.9	8.5

## 為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	4.0億円	1.4億円
ユーロ	0.6億円	0.2億円

- 通期の商品群別の売上高予想につきましても、変更ございません。

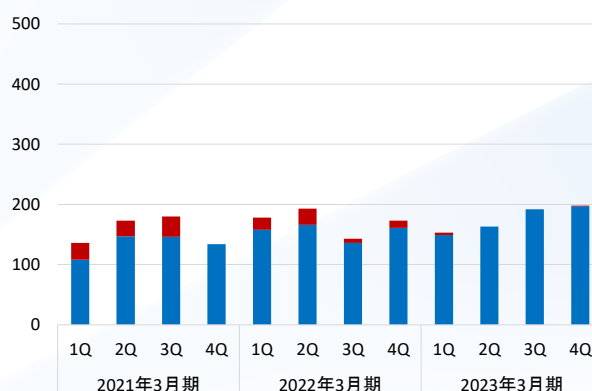
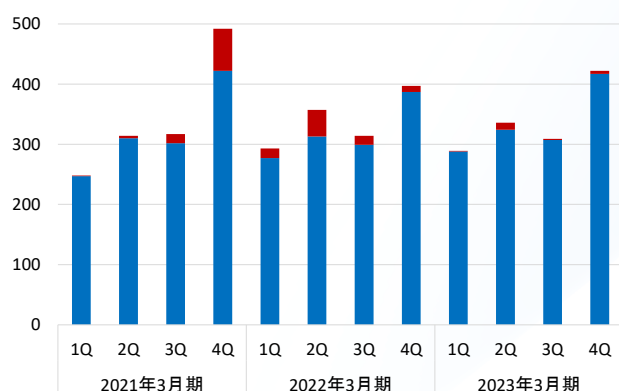
# [参考] COVID-19関連需要の推移(概算)

【国内売上高】

【海外売上高】

■ COVID-19関連  
■ COVID-19関連以外

(単位: 億円)



COVID-19関連需要 (通期)	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期	
	国内	海外	国内	海外	国内	海外
生体情報モニタ	40億円程度	45億円程度	60億円程度	35億円程度	15億円程度	3億円程度
人工呼吸器	50億円程度	40億円程度	25億円程度	15億円程度	5億円程度	1億円程度
除細動器	—	5億円程度	—	10億円程度	—	1億円程度
合計	90億円程度	90億円程度	85億円程度	60億円程度	20億円程度	5億円程度

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

また、この資料に含まれている製品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

【担当部署】経営戦略統括部  
【連絡先】TEL03-5996-8003